



↑橋の開通を祝いテープカットする県、町、地元関係者

★ 国 上り浜橋竣工開通式 道の急カーブを解消

夕見の上り浜地区に架かる「上り浜橋」が完成し、12月4日、竣工開通式が開かれました。

式には約100人が出席し、県や町、地元関係者らが玉串を捧げて安全を祈願。川添健町長が「交通量が多いこの道路が、迅速かつ安全に通行できるようになります」とあいさつして、テープカットやパレードで開通を祝いました。

上り浜地区は「新かごしま百景」に選定され、観光ルートの一つでもあります。急カーブ箇所が残され、車両事故が発生するなど危険な状態でした。このため、長さ160mの橋梁を架けて急カーブ区間を解消し、通行車両の安全向上、利便性の確保が図られました。

★ 地 域性を生かした活動を発表

県PTA活動研究委嘱公開

12月6日、文化ホールで「平成20年度鹿児島県PTA活動研究委嘱公開」が開催され、出水地区内から約460人のPTA会員と教育関係者が参加しました。

オープニングで夕見小学校全校児童が「夕見樽太鼓」を披露し、『ふるさと長島を愛し、心豊かでたくましい子どもの育成』をテーマに城川内小・蔵之元小・長島中の各PTAが研究発表しました。発表後には、町外の参加者から「各校区の地域性を生かしたPTA活動が活発で、驚いた。参考にしたい」などの意見が出されました。

このほか、『笑顔はパワーのみなもと』と題したバーバラ植村さんによる講演があり、「笑顔で生活すれば、心が豊かになる」「笑顔で前向きであれば、自分の周囲に素晴らしい人たちが集まる」など、多くの参加者が感銘を受けました。

本公開を契機に、町内のPTA活動や家庭教育がさらに充実・発展することが期待されます。



↑本公開には、出水地区内から多くのPTA、教育関係者が出席

←オープニングで夕見小の児童たちが「樽太鼓」を披露